

事例2

事業名 いつでもどこでも「すみ博」開催事業

課題

住吉区のまちづくりに参画する地域住民の活動を活性化したい。

効果

地域の特色（歴史的・文化的資源が集積している等）を活かした「すみ博」を開催することにより、区民が地域の魅力を再発見することとおして、区民のわがまち意識の醸成を図り、地域コミュニティの活性化につなげます。

協働のパートナー

☆経費の形態☆分担金

すみよし博覧会実行委員会

歴史と文化に恵まれた住吉区の魅力を住吉区内外に発信し、地域の特色を活かした「すみ博」を企画・運営する組織です。

住吉区役所市民協働課（まちづくり事業）

住吉区のまちづくりに参画する地域住民の活動を支援するという目的を持っています。

事業の概要

住吉区は1800年もの歴史を誇る「住吉大社」をはじめ歴史ある神社・仏閣や史跡また伝統的な建物が区内各所に点在する魅力あふれるまちです。特に住吉大社周辺・帝塚山地域を中心とした地域は、旧街道が通り、歴史や文化、万代池などの自然環境、商店と古い町並みなど多くの魅力ある資源が集まっています。

「すみ博」は、このような史跡や伝統的な建物を会場に、住吉区ゆかりの伝統芸能を披露するなど、豊かで魅力あふれるわがまちを地域住民が「愛着」を持って発信する事業として、平成19年度に初めて実施しました。区民の主体的な参加により地域の特色を生かした「すみ博」を開催することで、区内外からの集客で観光区住吉の復活を図り、また、コミュニティを強化し区全体を活性化させることを目的としています。

事業対象 住吉区民、住吉区外の住民

実施回数 3回

春：「リング de すみ博」（会場：住吉大社）

秋：「すみ博2011」（会場：すみよし村ぎやらりー、住吉公園、万代池公園他）

冬：「すみ博 in 長居」（会場：長居連合会館）



協働のパートナーとの出会い

☆市民ボランティアから！

すみよし博覧会実行委員会は、住吉区の歴史と文化を発信することで広く住吉区の魅力を伝え、区民が地域の魅力を再発見することをおして、区民のわがまち意識の醸成を図り、地域を活性化することを目的として「すみ博」を行っており、区役所に実行委員会への参画を求めました。

プロセス

① 年間計画の協議・調整	◎実行委員会を開き、活動目的を共有したうえで、年間計画を立て、イベントに向けて準備を進めました。	P
② 事業内容の協議・調整	♡ ◎実行委員と地域の協力者にて「すみ博ラウンドテーブル」を開催。部会（音楽・美術・歴史・広報）に分かれて企画会議を行い、テーマや内容・運営について話し合いを重ね、多くの方に参加頂けるイベントになるよう調整しました。	
③ ポスター・ガイドブック・イベントマップの作成	☆ガイドブックやイベントマップ掲載の協賛企業・協賛広告店を募り、資金調達を行いました。 ★ガイドブック等の校正作業を行いました。	D
④ イベント開催の周知(参加者募集)	◎市内の主要駅や書店、協賛企業などにガイドブック等を配布したり、会場周辺にのぼりを設置するなどして広く参加を呼びかけました。	
⑤ すみ博の実施	◎ラウンドテーブルのメンバーの他、学生ボランティア等の協力を得て「すみ博」を実施しました。	
⑥ 反省会	♡ ◎各部会及び「ラウンドテーブル」で反省会を行い、今後のイベントに反映する内容を話し合うことができました。	CA

※役割分担：☆協働のパートナー ★大阪市 ◎両者

♡ は、協働のポイントです。

協働で実施する理由！

すみよし博覧会実行委員会は、25年の歴史ある「帝塚山音楽祭」の実行委員会メンバーや地元アーティスト、歴史に精通した方などで構成されています。地元町会や各種団体との調整については区役所が担い、イベント開催のノウハウと幅広いネットワークを兼ね備えた同委員会と協働することにより、地域コミュニティ強化に繋がる事業を実施できます。

ここがよかった！～実践者の声～



普段の生活では、なかなか交流を持つことのない大学生グループや地域のお年寄り、女性会の方々と「すみ博」を開催することで話をしたり笑ったりあちこちでコミュニティが生まれたこと、それが一番の成果だと思います。この繋がりがあれば、いつ何があるかわからない自然災害の際にも、町を元気にしていけると自信を持ちました。この事業を通じて、もっと住吉区の良いところをアピールして、私たちのこの町へ沢山の皆様に来て頂きたいです。